

母親の育児力形成支援に関する研究

キーワード：母親、育児力、育児支援

領域・氏名

看護（公衆衛生看護学） 教授／ 松本憲子

概要

育児不安を持つ母親や児童虐待相談件数の増加が地域母子保健における課題となっています。このため、育児期のストレスが最も大きい一歳児を育てる母親の育児力の実態を「一歳児を育てる母親の育児力尺度」を用いて捉え、その結果をもとに、母親の育児力形成を促す支援について探求していきます。

具体的な内容

大学で開催していた子育て教室で、育児不安や育児ストレスのある母親の育児力を高める看護について明らかにする中で、現代の母親の育児力の低さに着目し、育児力に関する文献検討を行い、育児力を構成する概念について明らかにしました。その後、一歳児を育てる母親の育児力の実態を調査し、母親の育児力を高める支援の物差しとして、「一歳児を育てる母親の育児力尺度」の開発を行いました。

少子化になり、経験的に子育てを学ぶ機会が少なくなっている母親たちが行う育児は、時にネグレクト状態にある母親もあり、母子の愛着形成が不完全なまま子どもが育つことが懸念されます。このため、母親が安心して育児ができるための地域における育児力形成支援について考えていきます。

Information（情報）

「すべての母親と子どもに笑顔があふれるまちづくり」を目指して、地域母子保健に関係する方々とつながりたいと思っています。